

認定看護師レター

中国労災病院 認定看護師室：2017年12月発行 vol.47 担当：感染管理認定看護師 柴田美加

～インフルエンザや/ロウウイルスの 流行時期を迎えました～



感染対策の基本である「標準予防策」が適切に行えていますか？
今回は、その中で手指衛生と同様に重要な対策である「**環境表面の整備**」についてお伝えします。流行時期の感染を最小限に留めることが出来るよう、取り組んでいきましょう！

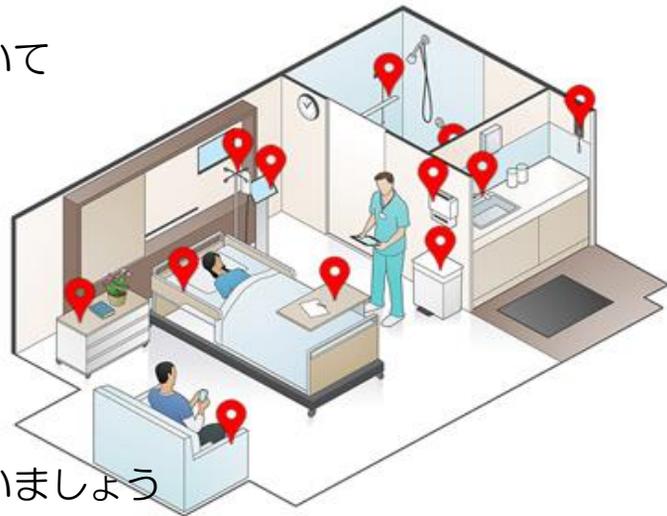
患者ケアを行う環境表面は、患者の存在や医療従事者の入室などによって微生物の数は増加することがあります。環境表面を無菌化することは出来ませんが、微生物に汚染された環境表面に触れた手が感染源となりうる可能性があるため、対策を行い微生物を低減させる必要があります

環境表面の整備のポイント！

- ①病室の環境表面の整備は**汚れと埃の除去**を行うことが大切です
但し、ノロウイルスやクロストリジウム・ディフィシルなど特定の微生物による汚染がある環境表面は消毒を行う必要があります
- ②**高頻度接触表面**は、環境クロス等を用いて**1日1回以上**の湿式清拭を行います

～高頻度接触表面とは～

「患者さんや医療従事者の手が高頻度に触れる場所」です。重点場所をしっかりと整備しましょう



- ③往復する拭き方では汚染を拡げます
この字を描き、**物理的除去**の方法で行いましょう

ゴシゴシ・キュッ キュッと拭く



～環境表面の物理的除去の方法～

wipe(拭く) だけでなく
Scrub(こする) を加える

*注意：環境表面の材質によって適さない場合があります

感染対策の合言葉である

☆うつさない・もらわない・拡げない☆
を目標に感染対策の基本を実践しましょう！